

令和8年度 平塚市立勝原小学校

《学校運営全体計画》

子どもも大人も安心・安全な学校の実現に向けて

児童数 341名
学級数 16学級
(含 特別支援学級4)
通級指導教室(ことば まなび)
国際教室
ほっとルーム(校内教育支援センター)

令和8年度の重点
“対話”を通して
「まなびあう子」
を育む

学校教育目標 ※勝原小教職員の教育活動目標

- ・心豊かで自他を愛する子どもの育成
- ・健康でたくましい子どもの育成
- ・磨き合い自ら学ぶ子どもの育成

☆めざす子ども像☆

※教職員の教育活動によってこんな子どもたちに育っているか

- あ**かるい子 **あい**さつ、豊かな心情、思いやる心、**温かい言葉**
- た**くましい子 心身の健康、やりとける意志
- ま**なびあう子 確かな学力、知恵、表現力、**対話力**

創立50周年 テーマは

“継承”

子ども…学校愛・地域愛

教職員…スキルと経験

《学校運営方針》

※学校教育目標達成のための教職員の意識

「子どもあいさ」

- ・子どもの成長と安心、安全を第一に考える教育活動

「みんなをみんなでみていく」を 勝原小スピリットとして

- ・チーム意識及び教科担任制

「基礎・基本の定着」

- ・基礎的・基本的な学習内容の定着

「あいさつは心の握手」

- ・自分や相手を思い、対話によるかわりあいのある教育

「支えあう学校」

- ・家庭、地域、関係諸機関等との連携
- ・協業協働を基盤とする教育活動

子どものモデルたる教職員

- ・「勝原小教職員心得」の常時意識
- ・「先生」とは教え導く人という意識

「コミュニティスクール」

- ・外部人材や環境を活用した多様な心豊かな教育活動

目標達成のための手のつけどころ

1 授業改善、授業創造

- ・子どもを知り、学習指導要領に根差した教育課程
- ・GIGA スクール構想を一層充実させた学びづくり
- ・対話のある学びあい授業

2 児童支援・指導の充実

- ・児童理解に基づく学年・学級経営
- ・相手意識のある指導、支援
- ・教育相談 CO（複数体制）をいかした対応と組織的な個別支援や援助

★「多様な学びの場」の活用

- ・通級教室、国際教室、「校内教育支援センター（ほっとルーム）」のある“強み”

3 学校事故・不祥事の防止

- ・安心・安全な学校生活の確保。不測の事態に備える危機管理意識の徹底

4 学校組織の協業的運営

- ・教職員の個性やよさを認め合う協業・協働体制。「同僚性」の一層の向上
- ・学年・学級経営を支える学校組織運営の工夫
- ・総括教諭を核とした分掌グループ、担当としての責務を果たすチーム力
- ・高学年『教科担任制』
- ・業務ワークシェア
⇒働きがいのある職場
豊かな職員対話

5 学校、家庭・地域との連携

- ・家庭や地域の願いと学校の教育活動との紡ぎ
⇒コミュニティスクール

6 幼保・小中連携

- ・近隣幼稚園保育園、山城中学校区の連携。

教師としての資質向上意識と不祥事防止に向けた気概

☆☆☆児童指導・児童支援の充実

- ・児童理解をもとにして適切な指導、支援を充実する。児童理解に基づく学年・学級経営。
 - ・関係教職員の共通理解 組織的な取り組みと対応 ⇒ 教育相談 CO 複数化
 - ・人間尊重の精神を基盤とする人権感覚に根ざした指導と教育
 - ・いじめ、不登校等問題行動への強い意識と早期対応・解消の努力 「いじめは許さない」
 - ・すべての児童にとって居場所のある学校
- ☆共生社会の担い手を育むため、児童が相互理解を深めることを目的として、すべての児童が共に学び、共に育つ取組を推進する。
- ・通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、国際教室、ほっとルームの連携

☆☆☆心の教育の充実

- ・学校教育活動全体を通じて、豊かな人間性を育成
 - ・自他の生命の尊重、互いに認め、支え合う思いやりの心を育成
 - ・ケース会議等を通して、問題行動の早期発見と適切な対応の実行
 - ・地域の人材・教材等の活用、自然に親しむ活動、福祉・ボランティア活動、社会経験等、心に響く体験活動を推進
- 郷土と自然を大切にする意識を育成
⇒コミュニティスクールの推進

☆☆確かな学び 充実した授業

★分かりやすい授業づくり⇒「分かる喜び」「できる楽しさ」⇒意欲の持続・学習習慣の確立⇒やり抜く力⇒確かな学び…学力向上

- ・「わかる授業」「楽しい授業」の充実に努め、子どもの実態把握、指導形態や指導方法の工夫改善、教材教具の効果的な活用
 - ・確かな学力を身の定着
 - ・基礎的、基本的な知識、技能の習得と活用
 - ・豊かな感性、思考力・判断力・表現力等を育成する学習活動のあり方の工夫
 - ・教育評価の改善と充実 一人ひとりのよさや可能性を伸ばす指導と評価
 - ・デジタル機器の有効活用
 - ・通常の学級における特別支援教育の充実
- ひまわり級と各学級の連携
子ども一人一人に応じた交流及び共同学習の推進

☆☆学校研究の充実

「主体的・対話的に学ぶための授業づくり」
～問いと意思を引き出すための手立ての工夫～

☆☆読書活動～読書環境・読書指導～充実

- ・読書活動を通じて、豊かな感性とともに「確かな学び」の礎となる「見えない学力」を培い ⇔ 「暗唱チャレンジ」の充実

☆☆☆チームとしての学校

- ・『役割り』を踏まえて、やるべきことに取り組むチーム、組織を維持する。ポジションの責務を果たすよう努める。
- ・職員相互が互いに尊重しあう同僚性や後進の育成を視野に入れた働き方
- ・教員が子どもと向き合う時間を十分に確保するために
⇒事務職員、心理や福祉等の専門家等、多様な人材との協働による教育活動や学校運営

☆☆☆働き方改革～ライフワークバランス～

- ・教師が心身の健康を損なわないための業務の質的転換
- ・限られた時間の中で、児童との時間を確保
- ・教職員の心身の豊かさを高め、児童に必要な総合的な指導が行えるよう、勤務時間外の時間を充実させよう!

☆☆自己研鑽・研修を生かした学びの充実

- ・ライフステージに沿った研修に努め、新しい教育や学校の実情に応じた専門職としての見識と指導力を養うとともに研修・研究の成果を日常の教育実践に活かす。
- ・幅広く研鑽を積み、人間性を磨き、社会人、教育者としての素養を養う。

☆☆健康教育の充実

- ・心の安定を大切にする教育活動の充実
- ・自分の健康や安全を自分で守るための知識や態度の定着
- ・安全管理に対する意識の向上と実践
- ・基本的な生活習慣の定着
- ・健康とスポーツへの関心・意欲、体力の向上
- ・食育を推進と望ましい食習慣の定着

●学習指導要領に根差した教育活動

★指導要領改訂の理念を理解し予測困難な時代に生きる子どもたちの育成。

- ・予測できない変化に主体的に向き合い、関わり、その過程で自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる素地の育成
- ・改訂予定の新学習指導要領に対する意識の保持

☆☆☆学校事故、不祥事防止と危機管理

過去の事例に学び、危機管理意識の徹底を図り、事故や不祥事発生防止努める。
発生した問題に対して全職員が解決に向けて協働する。

・想定外への常時意識

- ・複数チェック体制の強化
 - ・施設設備の有効活用
 - ・安心・安全の教育環境の実現
 - ・保護者対応における危機管理意識
- 日頃からの幅広く高いアンテナ（情報収集）

～学校運営協議会・学校評価・懇談会の充実と保護者・地域との連携～

- ・子どもを中心に据えた教育実践をすすめるとともに、教育活動をひらき、保護者・地域の学校教育への期待を受け止め、信頼される学校を実現する。地域文化の活性化、生涯学習施設の活用を模索する。